



週報 入間ロータリークラブ

2022-2023 RI 会長:ジェニファー・ジョーンズ RI2570 地区ガバナー:村田貴紀 会長:豊田義継 幹事:木下登

17号 3284回例会 2023年 5月 25日(木)

<ビジター・ゲスト>

第3グループガバナー補佐 白井 威 様

本年度もあと一ヶ月となり肩の荷が下りています。6月21日の新旧ガバナー補佐の引継ぎが最後の仕事となっています。一年間ありがとうございました。



奨学学友 平和フェロー委員 委員長 所沢ロータリークラブ 鳥居 由美子 様

23-25 年度グローバル補助金奨学生 埼玉県親善大使 佐藤 哲郎 様

🌸 会長挨拶 🌸 豊田義継会長

入間市に奉仕四団体の会があります。

四団体とは、入間ロータリークラブ、入間南ロータリークラブ、入間ライオンズクラブ、入間青年会議所です。去る19日に、3年ぶりに入間ロータリークラブが主管として、現況報告会と懇親会が行なわれました。それぞれのクラブが、今年度行なってきた事業や、現在行なっている活動等の説明があり、各クラブが目的をもって活動している実態がよく理解出来ました。報告を聞いて感じたことは、4つの団体が1つ共通の事業を設けて活動を行なえば、更に強力な奉仕活動が出来るのではないかということです。



4団体共に単年度制であり、各々の組織は会長が年度方針を決定し、予算化します。また、それぞれのクラブ事情もありますので、難しい点もありますが、次年度、次々年度の会長予定者が事前に調整すれば可能だと考えています。

宮崎年度、晝間年度では、このことを考えて、入間クラブが音頭を取って計画を立てるのも有りかなと感じています。

64年間、単独事業を行なってきましたが、合同事業が実現すれば、ロータリークラブの公共イメージアップにもつながると考えます。そして、今日は白井ガバナー補佐が、4度目の訪問でおいでいただきました。後程ご挨拶をしていただきますが、去る4月17日付でクラブに届いた2570地区運営に関わる重大なお知らせという文書が届いております。この件でその後のような状況になっているのか？各クラブに対し、依頼事項等があるのか否か等を含めて、お話ししたいと思えます。

また今月は、青少年奉仕月間です。今日のお客様、佐藤さんは、入間ロータリークラブがスポンサークラブとなり送り出す、グローバル補助金奨学生です。青少年交換学生ではありませんが、海外に出て勉学をするという点では広義の青少年と同じと考えます。

8月にアメリカへ旅立つ前に挨拶に出席して頂きましたので、その思いと勉強する医療のこと等をお話し下さい。

<幹事報告>

木下登幹事

1. 6/16(金) 入間 RC・入間南 RC 合同ゴルフコンペ(旧軽井沢ゴルフクラブ)で行われます。参加者の状況で車は乗り合わせでお願いします。後日詳細は連絡します。
2. 5/11(木) 入間市市民憲章推進協議会総会が行われ木下幹事が参加。
3. 5/18(木) 入間ロータリークラブゴルフコンペを久邇カントリークラブにて開催 優勝は晝間和弘会員でした。
4. 5/18(木) 入間商工会総代会。豊田会長が参加。
5. 5/19(金) 四クラブ合同懇親会



<5大奉仕委員長挨拶>

■クラブ奉仕委員会 宮崎正文委員長

今年度は、豊田会長のテーマ「楽しもうロータリー・そして心の通う奉仕を!」を基本に、活動方針としてきました。何をしたかわからないうちにあっという間に終わろうとしています。本日は活動計画により報告させていただきます。



①会員増強ですが計画は2名増としましたが、増強委員会のおかげで4名の増ができました。只、寺井会員が急にお亡くなりになられたので、1名減で今年度は3名の増でした。現在39名の会員ですが、来年度には、女性会員含め増強できるよう期待したいと思います。そして、新入会員の入会に会員選考委員会と職業分類委員会に審査していただき入会となりました。両委員会の委員の皆様、ありがとうございました。

②次に出席率の向上を目指して、「出席向上・プログラム・親睦」各委員会と連携して例会を計画してまいりました。出席に関しましては、豊田会長の方針で出席を明確にするということで、コロナによる100%の出席を取りやめ、コロナ前

に戻りまして元の通り、出席率に直しましたので、来月最後にパーセントが出ますので、100%の方はすごいと思います。「プログラム委員会」におかれましては、コロナ等で前半はまだ大変な時期でしたが、例会の内容をご苦労され決定されたと思います。ありがとうございました。そして、「親睦委員会」の皆様には、沢山の行事はありませんでしたが、主にクリスマス例会と来月行われる最終例会の準備開催で忙しい中、家庭集会を行い開催できたことに御礼申し上げます。この3委員会連携してくれたおかげで、豊田会長の思われたとおりに出来たと思います。

③ロータリーの基本事項の理解を深める研修等は、「ロータリー情報委員会」により地区からの情報や3年未満の会員を対象とした研修「会報・雑誌委員会」のロータリーの友の発行や会報の発行「広報委員会」のSNSを活用したロータリーに関する発信「ロータリー美術館」の開催による知識や教養を深めること等で、各委員会の皆様のおかげで、ロータリーの理解を求める研修が出来たと思います。

最後になりますが、自分が「クラブ奉仕委員長」として豊田会長・木下幹事の足手まといになることが一番心配でしたが、今のところ何も言われぬまま終わろうとしていますので、良かったと思います。

終わりに豊田会長・木下幹事・金井 SAAそして事務局の勝田さん、古川さんにも御礼を申し上げ、「クラブ奉仕委員長」の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

■職業奉仕委員会

木下登幹事

本日は杉田委員長が欠席のため代読いたします。

今年度の職業奉仕委員会は他委員会同様、コロナの影響により計画通りには進みませんでした。しかしながら入間市ゴミ減量推進協議会に参加し、フードバンクや子ども食堂への協力を行い、間接的にゴミ減量に係ることができました。今年1年ありがとうございました。



■社会奉仕委員会 馬路宏樹委員長

今年度豊田会長の「入間市の次世代の子供たちのために」をテーマに令和4年10月6日(木)入間市教育長 中田一平様を例会にお招きして「小中学校の現状と未来」と題し卓話を実施しました。また、12月6日(火)には入間市役所市長室に於いて、2021～2022年度豊田会長の社会奉仕活動の一環である教育器財の贈呈式が行われ、入間ロータリークラブから寄附金の目録が贈呈されました。さらに令和5年3月6日入間市民活動センターに於いて入間ロータリークラブ・入間南ロータリークラブ合同例会時に開催したチャリティー募金を入間市社会福祉協議会へ寄付いたしました。

次に地区の社会奉仕活動のアイバンク登録運動やブライダル委員会活動を当クラブに広報させていただきました。

また、「フードバンクいるま」に対し青少年奉仕委員会と連携を図り、事業に協力してまいりました。



■国際奉仕委員会 一柳達朗委員長

活動方針としては、国際交流を通じてロータリーの素晴らしさを感じる事が出来るように努める事と、支援を通じて国際社会に貢献出来るようにする事。この目的を達成出来るよう活動してきました。

活動計画

1. ロータリー財団、米山記念奨学会へ寄付の継続を行い皆様から寄付のご協力いただきました。
2. 米山記念奨学生の梁有鎮(ヤン ユジン)さんを会員全員で支援。ユジンさんが体調を崩して入院の間、大学を休学していましたが、カウンセラーの細田さんが定期的に連絡を取ってくれて、復学後は例会にも出席して貰うように働きかけて下さいました。これからの米山記念奨学部門のイベントにも積極的に参加してもらうように話をしました。



3. 国際奉仕に関連する委員会と協力し、当クラブとして何が出来るか探求していきたくて考えていましたが 米山記念奨学部門以外の委員会とは何も出来なかったのが反省点です。

■青少年奉仕委員会 一柳達朗委員

本日は田中委員長が欠席のため代理で発表させていただきます。

活動方針は入間ロータリークラブが続けてきた「次世代の子供たちのために」というテーマを基本として、心の通う奉仕を行っていきますと掲げました。

活動計画

1. 地域の子ども達の貧困問題への取組。「こども食堂ネットワークいるま」の会長 村野裕子さんに卓話講師として来ていただき、こども食堂について講話頂きました。入間市内にも26以上の場所で開催されており多くのお子さんや親御さん達が利用されています(公表していない所も有り)。財源の確保が難しいですが、皆様からの寄付などで賄っています。クラブからは、青少年奉仕の予算7万円のうち5万円を使わせて頂き寄付をしました。感謝申し上げます。
2. フードバンクへの協力(毎月)「フードバンクいるま」の事務局長に卓話講師として来ていただき、「地域の社会資源としてのフードバンクの活動」の紹介をして頂きました。また、毎月例会で発表の場を頂き、フードバンクいるまへ食料品の寄付の呼びかけと結果報告を致しました。吉永会員から7万円、田中から1万円、クラブの青少年奉仕予算のうち2万円を使わせて頂き合計10万円の寄付をする事が出来ました。またミルク募金箱をクラブに設置させて頂き、皆様から寄付のご協力も頂きました。重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

<出席報告>

後藤健委員

会員数	出席数	出席率	前回修正率
39名	13名	35.0%	-----

事前欠席連絡 11名

■■■講師卓話■■■

「感染症対策で世界に貢献するために」

佐藤 哲郎 様

感染症に興味を持ったのは高校2年生の時に「校庭の土から新種の抗菌性放線菌を見つける」と題し、1年間共同研究し、静岡県科学技術コンクール最優秀賞を受賞したことを契機に細菌やウイルスに興味を持ちました。高校卒業後も感染症を学びたいと思い、藤田医科大学医療科学部臨床検査学科に入学。卒業後は感染症と社会との繋がりに興味を持ち、現職に至るまでにJICA 青年海外協力隊派遣、大学の公衆衛生学教室、都立衛生研究所や国立感染症研究所に勤務してまいりました。広い視点から感染症を捉えたいという思いから、JICA の青年海外協力隊の感染症・エイズ対策隊員として、中米のホンジュラス共和国の保健省が運営するユースクリニック（思春期外来）に2年間派遣され、主に性感染症予防啓発をはじめとした性教育出張授業に従事しました。ロータリーとの出会いも派遣中に相模原橋本RC超音波診断機器3台の寄贈を受けたことで、素晴らしい理念のもと活動されている団体があるのだと知ることができました。海外協力隊派遣中にジカ熱という蚊が媒介する感染症のパンデミックに襲われ感染症対策隊員として派遣されていたものの有効な啓発活動ができず悔しい経験をし、帰国後は感染症疫学を専門的に学びたいと思い、国立感染症研究所の実地疫学専門家養成コースの研修員として勤務を始めました。1年後にCOVID-19のパンデミックに直面し、厚生労働省COVID-19クラスター対策班現地派遣チームを併任。

今回のパンデミックの大きな特徴として、インフォデミックがあげられるかと思えます。特に流行初期はデマも含めた大量の情報により混乱を招いてしまいました。日本で混乱を招いてしまった原因の1つとしては、感染症対策の構造に問題があったと個人的に振り返っております。日本には欧米と異なり感染症の研究者と市民の架け橋となる広報担当者（スポークスマン）という存在がいないということに気がきました。



そして広報担当者を担うために必要なことを学びたいと考えたことが、留学の最大の動機です。

本年8月より2年間、米国アトランタにあるエモリー大学公衆衛生大学院グローバルヘルス学科（感染症専攻）にて公衆衛生学修士号を取得目的で留学します。エモリー大学では行動変容に繋がるヘルスコミュニケーションを学ぶことで、感染症の流行・集団発生時に、実地疫学調査で得た情報や教訓をリスクコミュニケーションの手法を踏まえ、広く市民に還元できる専門家になれるよう精進します。修了後は世界の公衆衛生の首都であるアトランタの地の利を活かし、米国及び世界の感染症対策における司令塔機能を有するCDC（米国疾病予防管理センター）をはじめとした最先端の研究機関での業務を経験し、最終的には低中所得国及び母国日本の健康危機管理に貢献したいです。

留学期間中は第6900地区にあるノース・アトランタRCに受け入れていただくことになりました。第2570地区グローバル補助金奨学生及び埼玉親善大使として、頂いた機会を活かしロータリアンの方々からも最大限吸収する所存です。世界の感染症対策を通じて最終的には世界平和にも貢献したいです。

<ニコニコBOX> 金井祐一SAA

- ☀️今年度1年ありがとうございました。「白井威様」
 - ☀️本日はよろしくお願いたします。「鳥居由美子様」
 - ☀️白井ガバナー補佐、鳥居様、佐藤様ようこそ入間クラブへ。「豊田義継君、木下登君、金井祐一君 細淵克則君、関谷永久君」
 - ☀️入間ロータリーのゴルフ会で優勝しました。「晝間和弘君」
 - ☀️少し早めに退室します。「後藤健君」
- 本日¥15,000 累計¥578,620

■回覧、配布物

- ①ガバナー月信2023.3月号
- ②新所沢RC創立50周年記念誌
- ③倫風6月号
- ④入間市交通安全ポスター協賛のお願い
- ⑤歌舞伎座団体観劇のご案内
- ⑥他クラブ次年度役員・理事のお知らせ
- ⑦入間RC週報16号

発行 入間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0005 入間市宮前町1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：細田浩司

